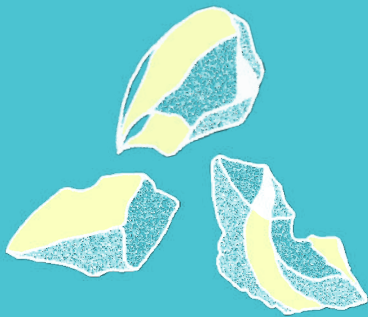
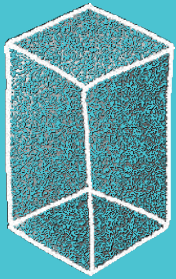


りったいせいさく  
こどももおとなも立体制作ワークショップ

# 透明な生きものをつくる



1, 透明なアクリルのかけら



2, 容器の中でかけらを組み合わせる



3, 液体樹脂を流しこみ固めたら  
透明な生きものが完成!

## 参加者募集



小滝タケル《once—polymorphism—》2022年、ポリエステル樹脂  
この作品を参考にして、小さくて透明な立体物をつくれます!

- 日程 2023年11月12日(日)  
時間 13:00~15:30  
対象 小学生~大人まで ※小学校3年生以下は保護者同伴  
講師 小滝タケル(美術作家、本学造形研究科美術専攻彫刻コース修了)  
定員 20名 ※応募多数の場合は抽選  
参加費 無料  
会場 武蔵野美術大学美術館 展示室6  
お申込 当館ウェブサイトのワークショップ  
申込みフォームから事前申込み  
10月27日(金)締切

「自然」という言葉を聞いたら、みなさんはまず、なにを思い浮かべますか？生まれた場所、育った町、それぞれが過ごした環境によって、心に思い浮かべるものは山であったり海であったり十人十色です。

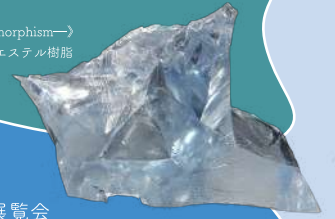
講師の小滝タケルさんは、幼い頃からずっと変わらず好きな虫や動物、さらには太古の生物など、生きものを出発点に自然という広大なテーマで、彫刻作品をつくってきました。

小滝さんの作品のひとつに、アクリルの塊をなかば作家本人の意思を超えて無作為に削りだし、荒々しい波の姿を表した《once》シリーズがあります。

今回のワークショップでは、小滝さんが彫刻をつくるときに生じたアクリルのかけらを組み合わせて、小さくて透明な生きものの立体物をつくることに挑戦します。

また、制作の前には、ワークショップ当日に開催している「西田俊英—不死鳥」展を見てみましょう。会場には、無数の生きものが息づく屋久島の森が描かれた《不死鳥》をはじめとして、日本画家西田俊英氏の眼を通して描かれたさまざまな生きものの姿が見られることでしょう。多くの作家を惹きつけてやまない「自然」というテーマ。画家、彫刻家、それぞれの視点で描かれ、つくられたさまざまな自然のかたちに触れながら、みなさんだけの透明な生きものを一緒に作りましょう。

小滝タケル《once—polymorphism—》  
2022年、ポリエステル樹脂



### こどももおとなも立体制作ワークショップ 透明な生きものをつくる

日時 2023年11月12日(日)  
13:00~15:30

対象 小学生~大人まで  
※小学校3年生以下は保護者同伴

講師 小滝タケル  
(美術作家、本学造形研究科美術専攻彫刻コース修了)

定員 20名 ※応募多数の場合は抽選

参加費 無料

会場 武蔵野美術大学美術館 展示室6

お申込 ワークショップ申込みフォームから  
事前申込み

締切 10月27日(金)

※お申込は、ご兄弟・ご家族を除き1件につき1名のご応募とさせていただきます。

※応募者の個人情報は厳重に管理し、本ワークショップの運営上のみ使用いたします。



申込みフォーム

ワークショップ当日に開催中の展覧会

「西田俊英—不死鳥」

会期 2023年10月23日(月)~11月19日(日)

時間 11:00~19:00

(土・日曜日、祝日、10月27日[金]は10:00~17:00)

休館日 水曜日

詳細はウェブサイトにて

**アクセス**

- 西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩18分
- JR中央線「国分寺」駅北口4番停留所より  
西武バス「武蔵野美術大学」行、または「小平営業所」行に乗り、  
「武蔵野美術大学正門」停留所下車(バス所要時間:約25分)
- JR中央線「立川」駅北口5番停留所より立川バス「武蔵野美術大学」行に乗り、  
「武蔵野美術大学」停留所下車(バス所要時間:約25分)

※お車でのご来館はご遠慮ください。

### お問い合わせ

主催: 武蔵野美術大学 美術館・図書館(担当: 内田、井上、森)

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

Email: prmsm@musabi.ac.jp

Tel: 042-342-6003

https://mauml.musabi.ac.jp/museum/

X(旧Twitter)、Instagram: @mau\_m\_1

